

病院の沿革

昭和 年 月

- 46 . 11 市議会において市民病院の建設問題が議題となる
- 47 . 3 市議会において再び、市民病院の建設問題が議題となる
- 47 . 12 市議会において市理事者から関係審議会を設置して調査することを表明
- 48 . 3 本市総合医療対策審議会設置条例制定
- 48 . 6 当該審議会開催（委員構成15名、会長：関 悌四郎 大阪大学医学部名誉教授）
 - 諮問事項 1) 市民医療総合施設（市立病院の設置）について
 - 2) 救急医療体制について
- 48 . 12 当該審議会より中間答申を受ける
- 49 . 3 市民医療総合施設建設基金条例制定
市議会に市民病院建設特別委員会設置（委員構成10名）
- 49 . 4 市民医療総合施設対策室設置
- 50 . 3 総合医療施設建設予定地を本市芝地内に選定し、土地区画整理事業を実施し、
その中で建設用地を確保することに決定
- 51 . 6 第17回当該審議会において最終答申を受ける
- 51 . 7 庁内で、市民医療総合施設整備促進対策委員会を設置（委員構成7名）
- 52 . 2 地方自治法第174条に基づく、市立病院等建設専門委員を設置（委員6名）
- 52 . 6 建設計画（昭和56年度開院）及び医療従事者の確保（大阪大学系）について
市議会の了承を得る（全員協議会）
- 52 . 10 市民医療総合施設対策室を市立病院建設事務局に、市民医療総合施設整備促進対策委員会を市立病院等開設準備委員会に、それぞれ改組
- 52 . 11 大阪大学医学部より院長予定者として、元府立成人病センター副所長
乾 久朗氏の推薦を受ける
- 52 . 12 前記 乾 久朗氏を本市非常勤嘱託に委嘱する
看護婦確保対策班を設置し、養成施設訪問を開始（九州・中国・四国地方の
89校を訪問）
- 53 . 1 市立病院等建設対策本部を設置（本部長：市長、市立病院等開設準備委員会
を改組）
市立総合医療施設設置基本計画の策定のため、新医療施設整備調査会
（大阪大学医学部内）に委託
- 53 . 3 市議会に市立病院建設特別委員会設置（委員構成11名）
新医療施設整備調査会より、本市立総合医療施設設置基本計画の報告を受ける
- 53 . 5 市立病院建設基本計画を策定、市議会の了承を得る
- 53 . 8 市立病院建設基本・実施設計に着手
- 53 . 9 地方自治法第174条に基づく、市立病院建設設計調査専門委員を設置
- 54 . 3 市立病院建設基本設計が完了、市議会の了承を得る
- 54 . 4 特別会計病院建設事業費設置

昭和 年 月

- 54 . 8 市立病院建設実施設計が完了、市議会の了承を得る
- 54 . 9 市立病院建設工事請負契約を締結
- 54 . 10 看護婦宿舎設計に着手
市立病院建設工事着工式典
- 55 . 3 看護婦宿舎設計完了、工事請負契約を締結
- 55 . 4 院長予定者、副院長予定者等主要医療職員を採用
- 56 . 3 看護婦宿舎竣工、入居開始
- 56 . 4 箕面市立病院開設許可
病院本館竣工
箕面市病院事業設置条例施行、公営企業会計を一部適用、職員配置
- 56 . 5 病院長 乾 久朗氏 逝去
病院構造設備使用許可（210床）
- 56 . 6 病院長 田村 宏氏 就任 医師住宅竣工
開院式典（26日）
- 56 . 7 診療開始（7日）
（診療科） 内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科
産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線科
（病床数） 一般病床200床、伝染病床10床、計210床
断続的な宿直又は日直勤務許可
保険医療機関指定
生活保護法による医療機関指定
被爆者一般疾病医療機関指定
- 56 . 8 未熟児養育医療機関指定
- 56 . 12 労災保険指定病院指定
救急病院等の認定
- 57 . 1 児童福祉施設（第一種助産施設）認可
- 57 . 3 総合病院の名称使用の承認
病院構造設備使用許可（260床）
- 57 . 5 5階東病棟（一般病床50床）設置（一般病床250床、伝染病床10床、計260床）
- 58 . 10 更生医療を担当する医療機関の指定
- 59 . 3 病院構造設備使用許可（310床）
- 59 . 4 大阪府乳幼児精密健康診査取扱い医療機関の指定
- 59 . 5 5階西病棟（一般病床50床）設置（一般病床300床、伝染病床10床、計310床）
- 60 . 4 麻酔科設置
- 60 . 11 安定した生きがいのあるまちづくりを基本理念として「第三次箕面市総合計画」策定
- 61 . 4 「第三次箕面市総合計画」に基づき保健福祉施策の拡大充実
- 61 . 7 箕面市行政機構改革により健康福祉部（医療・保健・福祉行政の一元化）を設置

昭和 年 月

63. 3 病院長 田村 宏氏 退任
箕面市福祉計画を2年に亘って計画策定委員会（大阪府池田保健所箕面支所長を中心とした関係機関・団体及び市行政関係者）で検討
63. 4 田村 宏氏 名誉院長就任
病院長 青木行俊氏 就任
健康福祉部に地域保健室を設置
63. 11 大阪大学医学部公衆衛生学教室 多田羅浩三教授の協力のもと「箕面市保健福祉総合施策推進研究会議」～将来にわたる「在宅ケア総合推進」のあり方に関する学術的調査・研究～を開催（平成元年3月まで）
研究会議（4回）、ワーキンググループ会議（8回）

平成 年 月

- 元. 3 上記の関連研究結果が「明日にはばたくライフプラザ計画」にまとめられ市長に提示
「ライフプラザ計画」を基礎にして、在宅福祉のあり方に関する調査・研究を「箕面市在宅福祉研究会議」にて実施
2. 3 「箕面市における在宅福祉サービスのあり方に関連する調査・研究」を、「箕面ライフケア計画」として市長に提示
市議会に「保健福祉総合施設建設特別委員会」設置
第1期工事としてリハビリテーションセンター・老人保健施設・総合保健センターの建設承認を得る
市立病院にリハビリテーションセンター設立準備小委員会発足
3. 7 開院10周年記念式典を挙行（13日）
4. 3 病院長 青木行俊氏 退任
4. 4 病院長 下辻常介氏 就任
4. 12 大阪府医療審議会において特定病床の増床認可
5. 4 土曜日休診実施
救急診療部、地域医療室設置
6. 1 リハビリテーションセンター棟新築工事着工
6. 4 予約診療開始
7. 4 精神科設置
7. 5 リハビリテーションセンター運営に関する小委員会発足
7. 10 病院構造設備使用許可（リハビリテーション部）
リハビリテーションセンター地下1階・1階・2階部分仮使用開始
リハビリテーション部移設（病院地下1階からセンター1階）
8. 3 リハビリテーションセンター竣工
8. 4 病院構造設備使用許可（早期療育関係諸室）
早期療育部門使用開始
8. 6 神経内科設置

平成 年 月

- 8. 7 形成外科、理学診療科設置
3階南病棟（一般病床50床）設置（一般病床350床、伝染病床10床 計360床）
リハビリテーションセンター開設
病院構造設備使用許可（360床 理学診療科及び関係諸室）
理学療法の格上げ承認及び作業療法の新設承認
集中治療室（一般病床6床）設置（全体病床数異同なし）
救急処置室改修
開院15周年記念式典（7日）
- 9. 1 理学診療科をリハビリテーション科に名称変更
- 9. 3 駐車場改修
病院長 下辻常介氏 退任
- 9. 4 病院長 岩崎雅行氏 就任
駐車場有料化
- 10. 2 箕面市立病院基本理念制定
- 11. 4 伝染病棟（伝染病床10床）廃止（一般病床350床）
- 12. 3 病院長 岩崎雅行氏 退任
- 12. 4 病院長 岩田吉一氏 就任
訪問リハビリテーション事業開始
- 13. 3 救急病院等としての協力診療科に小児科を追加（内科・外科・小児科）
- 13. 4 院外処方箋全面切替
「第四次箕面市総合計画」に基づき健康づくりと地域医療を充実
- 13. 6 初診料加算金導入
- 13. 7 開院20周年記念式典（6日）
- 14. 2 オーダエントリーシステム導入
- 14. 3 病院長 岩田吉一氏 退任
- 14. 4 病院長 吉川宣輝氏 就任
臨床研修病院の指定
- 14. 5 労災保険二次健診等給付医療機関の指定
- 14. 7 肝炎専門医療機関の指定
- 14. 10 電子カルテ導入
- 15. 2 外来診察の予約制開始、外来中待ち合いの廃止
点滴センター設置
- 15. 7 再診料加算金導入
- 15. 8 財団法人 日本医療機能評価機構の認定病院となる
- 15. 11 開放病床（5床）認可
- 15. 12 日帰り手術センター設置
歯科設置（診療日：日曜、祝日、12月29日～1月3日）
- 16. 2 特定給食施設の指定
- 16. 3 「箕面市立病院経営健全化計画」策定

平成 年 月

- 16 . 4 内科一次救急の休日診療開始
小児科二次救急の輪番制開始
- 16 . 10 女性専用外来設置
- 17 . 1 市立病院改修工事着工
- 17 . 4 I C U改修工事着工 (350床中13床休止)
仮分娩室等設置工事 (350床中21床休止)
- 17 . 6 I C U稼働
3階西、4階西、5階西病棟改修工事着工 (350床中145床休止)
- 17 . 8 3階西、4階西、5階西病棟稼働
P E T - C T検査開始
- 17 . 9 3階東、4階東、5階東病棟改修工事着工 (350床中122床休止)
- 17 . 12 3階東病棟稼働 (317床中89床休止)
- 18 . 2 4階東病棟稼働 (317床中44床休止)
E R (救急総合診療部) 稼働
救急診療部から救急総合診療部に名称変更
病院構造設備使用許可 (317床)
- 18 . 3 市立病院改修工事竣工
- 18 . 4 5階東病棟稼働
- 18 . 4 D P C (診断群分類別包括評価)による入院医療費の算定開始
- 18 . 7 開院25周年・リニューアルオープン記念コンサート
- 19 . 3 病院長 吉川宣輝氏 退任
- 19 . 4 病院長 豊島博行氏 就任
敷地内禁煙の実施
- 19 . 6 院内保育室の設置
7対1入院基本料の算定
- 19 . 12 クレジットカードによる診療費の収納開始
- 20 . 4 内視鏡センター設置
- 20 . 8 財団法人 日本医療機能評価機構の認定を更新 (Ver. 5.0)
- 21 . 1 英語通訳ボランティアの導入
- 21 . 3 「箕面市立病院改革プラン」策定
病院長 豊島博行氏 退任
- 21 . 4 病院長 田村信司氏 就任
- 21 . 5 新型インフルエンザ発熱外来及び特設外来を臨時設置
- 21 . 6 地方公営企業法を全部適用
病院事業管理者 重松 剛氏 就任
総長 田村信司氏 就任
病院長 黒川英司氏 就任
病院組織の改編 (医療技術局、チーム医療推進室、総合診療科、臨床工学部、臨床研究推進部を設置)

平成 年 月

- 21 . 7 糖尿病センターを設置
- 21 . 9 コンビニエンスストアでの診療費の収納代行業務を開始
- 21 . 10 看護師の二交代勤務の実施（5階西病棟から順次拡大）
- 21 . 11 登録医意見交換会を初開催
- 21 . 12 鏡視下（内視鏡）手術室を設置
- 22 . 3 大阪府がん診療拠点病院に指定
地域医療ネットワークシステム運用開始
- 22 . 4 がん診療推進部を設置
- 22 . 6 HCU（ハイケアユニット）設置
- 22 . 7 改革プラン評価委員会・地域医療支援委員会を初開催
- 22 . 9 箕面コミュニティバス「オレンジゆずるバス」市立病院乗り入れ開始
- 22 . 11 地域医療支援病院の承認
- 22 . 12 駐車場利用料金改定及び民間事業者による管理運営を開始
- 23 . 4 「第五次箕面市総合計画」に基づき健康づくりと地域医療を充実
職員定数条例改正（419人→475人）
- 23 . 7 開院30周年記念式典・祝賀会（7日）
- 23 . 11 病児保育開始
- 24 . 3 看護師寮廃止
- 24 . 4 消化器内科、消化器外科を設置
回復期リハビリテーション病棟において365日のリハビリテーションを開始
- 25 . 4 急性期病棟において365日のリハビリテーションを開始
- 25 . 8 公益財団法人 日本医療機能評価機構の認定更新（一般病院2_3rdG:Ver. 1.0）
- 25 . 12 MRI装置（磁気共鳴画像診断装置）を増設
がんサロン「ゆず」開始
- 26 . 4 職員定数条例改正（475人→530人）
- 26 . 6 病理診断科を設置
- 26 . 10 循環器内科を設置
- 27 . 1 難病指定医療機関の指定
小児慢性病指定医療機関の指定
- 27 . 4 内視鏡手術支援ロボットを導入
- 27 . 8 診療費自動精算機を導入
- 27 . 10 3階南病棟及び理学療法室改修工事竣工
- 28 . 3 外来治療センター設置
- 28 . 4 外来受付時間を変更（11時30分まで→11時まで）
- 28 . 9 採血受付システムを導入
- 28 . 11 医師の宿日直を廃止し、勤務扱いに変更
市立病院リニューアル調査検討業務委託によりリニューアルの検討に着手
- 29 . 3 「新・箕面市立病院改革プラン」策定
- 29 . 4 糖尿病・内分泌代謝内科を設置

平成 年 月

29. 7 「市立病院リニューアル調査検討業務報告書」の提出を受ける
29. 9 血液内科を設置
市議会一般質問において市立病院のリニューアル手法と建替え場所について議論となる
29. 11 新市立病院整備基本計画（第1期）策定業務委託により建替えに向けた検討を開始
29. 12 市立病院の設置場所を「箕面市船場東1丁目1番」に変更する「箕面市病院事業の設置等に関する条例改正」議案が議決される（公布の日から7年以内に施行）
COM1号館跡地を新市立病院用地として土地開発公社が先行取得し、市立病院が平成32年度までに購入する補正予算（債務負担行為補正）が議決される
これにより市立病院のCOM1号館跡地等への移転建替えが議会で承認される
30. 3 本市新市立病院整備審議会設置条例制定
30. 3 病院長 黒川英司氏 退任
30. 4 総長 田村信司氏が病院長を兼務
職員定数条例改正（530人→700人）
市立病院医療体制整備基金条例を全部改正し、従来の基金を施設整備や運営も含めた市立病院の整備充実のための基金に再編
呼吸器外科、乳腺外科、感染制御部を設置
30. 8 「第3次箕面市立病院改革プラン」策定
30. 10 病院事業管理者 重松 剛氏 退任
30. 11 病院事業管理者 稲野 公一氏 就任
救急科を設置
公益財団法人 日本医療機能評価機構の認定更新（一般病院2_3rdG:Ver. 2.0）

令和 年 月

2. 2 乳腺外科の名称を乳腺・甲状腺外科に変更
大阪府がん診療拠点病院の指定更新
2. 3 NPO法人卒後臨床研修評価機構による臨床研修指定病院に認定
新型コロナウイルス感染症発熱外来を設置
2. 4 1病棟を新型コロナウイルス感染症専用病棟として、必要に応じて運用開始
2. 12 市議会に新市立病院建設運営特別委員会設置（委員構成11名）
病院事業管理者 稲野 公一氏 退任
3. 1 病院事業管理者 大橋 修二氏 就任
3. 2 第1回新市立病院整備審議会開催
（委員構成11名、会長：坂田 泰史 大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学教授）
諮問事項 1) 新病院が担うべき医療機能等について
2) 新病院の運営主体・運営手法について
3) 新病院の整備手法について
3. 3 総長兼病院長 田村 信司氏 退任